

仕合わせの和

第182号
H. 29. 5. 1
(毎月1日発行)

真実の相 (すがた)

住職 谷川寛俊



人生五十年とは昔のこと、今や八十年、いや九十年といっても過言ではない時代になりました。この長くも短い人生の中で、大きな病気や事故に遭遇することもなく、無事安穩に過ごせる人もあるでしょうが、そうは言っても私達は生身の人間です。思わぬ事故や病気に遭遇することもあります。また経済状況が思うようにいかなくなったり、争いごとが起こつたりすることもあります。あるいは自然災害で長年築いてきたものが一瞬のうちに喪失してしまう不幸に見舞われることもあります。特に近年は全国各地で頻繁に起きていますから他人事ではありません。

みんな同じ人間に生まれながら、生まれた環境によって千差万別のスタートを切ります。傍らから見れば、不幸な境遇にしか見えない気の毒な方もおられます。

仏教では、これら全て存在するものは「因果の相(すがた)」であり、「真実の相」なのだ教えられます。

特に『法華経』では「諸法実相(しよほうじつそう)」と言います。つまり、存在するあらゆる事柄の事を意味します。過去・現在・未来にわたる因果因果によるものですから、一人として同じ人間はないという事になります。

先日、金沢でクリニック(医院)と、スポーツジムが併設された施設『浦田クリニック・スクール金沢』の開業記念パーティーに招かれ、副住職と行つて来ました。政財界をはじめ、あらゆるジャンルの方々、約3百名が集う盛大な祝賀会で壇上に立った理事長の知人である医師が祝辞の中で次の様な事を仰っていました。『「ピンピンコロリ」で、この世を終わりたいと誰しもが願っています。そうは問屋が卸しません。病気になるためには、適度な運動と睡眠と食事のバランスが必要であり、このような施設をいち早く取り入れられたことは、医療界では大変画期的なこと。ぜひ成功していただき、全国にも同じ様な施設が出来ることを友人として心より願っています。云々』と。

確かにその通りだと思いました。「運動、睡眠、食事のバランスが大切」というのは、当たり前すぎるほど当たり前のことです。でも、欲のある私達

「仕合わせの和」
と打ち込んで頂ければ、ホームページにつながります。

編集・発行
玉蓮山 真成寺
編集部 谷川久仁子
TEL・FAX 0765-22-2268
携帯 080-3744-2523
こちらの番号でもお寺につながります。

には、なかなか難しいのも事実でしょう。頭では分かっているものの、なかなか実行するとなると難しくなります。これを因縁因果の法則(真理)に照らして言うならば、過食や偏食、短眠や惰眠、運動不足で不規則な生活習慣などなど、病気になるなければ、こういう生活をすれば即病気になるますよね(苦笑)。私自身も、バランスの良い生活習慣を心掛けたいと改めて思いました。

ところで昨年のこと、私が恩師と敬愛していた先生が九十八歳で天寿を全うされました。生前中は病気一つしたことのない先生でしたので、先生に目にかかった方々は一様に同じ質問をされたそうです。「元気で長生きをする秘訣は何ですか?」と、先生の健康長寿を見習いたいという気持ちから出る自然な質問だったと思います。対して先生は「誦誦(お経を大きな声で唱える)です」と一言で答えられたそうです。

仏教で「誦誦」とは、自分自身を浄め、また周囲をも浄める功德があり、自らの魂を輝かせ、運命を開く力が湧き出るといいます。そしてもう一つは「布施」を喜んでされました。「施し」は真心を形や行動で現すことです。神仏は元より、亡き靈位や人々の心を悦ばせることに繋がります。善(よ)き因果をもたすためには、まず「善因」を作ることです。「善因(よき原因)」を作れば「善果(よき結果)」を生むこととなります。これがすなわち「善因善果(ぜんいんぜんが)」ということです。その反対もあります。「悪因悪果(あくいんあつか)」です。この法則(真実の相)は、誤魔化しはききません。厳正なる理(ことわり)なのです。私達はどんなに小さな事でも良いから、周囲の人達から誉められる様な人間に、そして皆から良く言われる様な生き方をし、自らを高め一日一日を大切に生きたいものであります。

